

ケアラーを社会で支えるしくみを



一般社団法人
日本ケアラー連盟
Carers Japan



日本ケアラー連盟は――

①ケアラーの課題を明らかにし、 ケアラー支援の必要性を訴えます。

日本の社会保障制度にはまだケアラー支援の視点がありません。ケアする人、ケアされる人の両当事者がともに尊重され、その権利が擁護されなければ、よいケアもケアラーのあたりまえの社会生活も守れません。調査や研究を深めて、ケアラーのおかれている状況を把握し、課題を明らかにして、ケアラー支援を広く社会に訴えます。

②ケアラーの健康と生活、人権を 守ります。

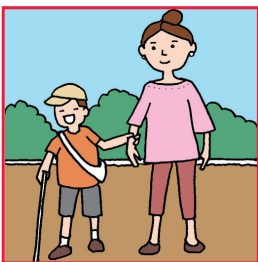
ケアラーが、ストレスや不安、疲労や不眠などによって心身の健康をそこねたり、貧困や社会的孤立に追いこまれず、学業や仕事を継続し、安定した生活をたもてるようにするには、社会的支援が不可欠です。ケアラーが将来への希望をもてるように、その人生を応援します。

③法制化をはかり、社会全体で ケアラーを支えるしくみをつくります。

日本は少子高齢化が進み、だれもがケアラーになる社会になりました。すべての世代にわたる多様なケアラーが、多様な相手をケアしています。地域包括ケアシステムの中にケアラー支援を位置付け、総合支援・地域生活支援事業として、法的、政策的に地域や社会全体で支えるしくみをつくる必要があります。

④ケアラー支援で持続可能な社会を つくります。

ケアラーを社会的に放置すれば、教育や雇用機会の喪失、経済的逼迫や無年金・低年金など社会的・経済的影響は計り知れません。将来の社会保障コスト・社会的リスクも大きくなり、社会の支え手の減少を招きます。多くの先進諸国にはケアラー支援のための法律や政策があります。日本の将来にとっても、ケアラーの社会的支援は不可避です。



障害をもつこどもを育てている

こんな人が
介護する人
ケアラーです



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と介護でせいっぱいでほかに何もできない



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族をケアしている



障害や病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている